

9/9

## 3つのコミュニティ 協議会がつなぐ支援の輪



### 令和8年熊本地震 災害義援金贈呈

二日市わがまち協議会、二日市北コミュニティ協議会、天拝ふるさと協議会の市内3つのコミュニティ運営協議会が熊本地震災害義援金を贈呈しました。この義援金は3協議会が協同で実施する「二日市三地区地域防災防犯協同事業」から拠出したものです。義援金の贈呈後は、防災や防犯などの面で今後ますます重要となる地域コミュニティについて、力を合わせ安全で安心なまちづくりを進めるため、懇談を行いました。



義援金は日本赤十字社を通じて被災地に届けられます

8/25

## 地域貢献の思いを 子育て支援に



### ベビーカーを寄贈

筑紫地区建設コンサルタンツ協会から、ベビーカー1台の寄贈を受けました。贈呈式で、平井市長は「市のブランドコンセプトである「育ちあうまち。筑紫野市」の中で、今回寄贈いただいたベビーカーは大きな役割を果たしてくれると思います」と話しました。寄贈品は市役所を訪れる子育て世帯への貸出用として有意義に活用されます。



ご利用の際は、市役所1階総合案内にお声かけください

9/23

## 絵本と音楽に 包まれるひととき



### 音楽と楽しむおはなし会

生涯学習センターさんあいホールで音楽と楽しむおはなし会を開催しました。「私のたからもの」をテーマに、つくしんぼおはなし会による「ぴょーん」や「はらぺこあおむし」などの絵本の読み聞かせと、筑紫野市吹奏楽団による「ぼよん行進曲」や「大きな古時計」などの演奏を楽しみました。参加者たちは絵本の世界と音楽に触れながら、楽しいひとときを過ごしました。



リズムに合わせて体を動かしながら読み聞かせと演奏を楽しみました

9/1

## 一丸となって 支援の協力を



### 令和8年熊本地震 災害義援金街頭募金活動

熊本地震の被災者を支援するため、平井市長や原口議長など、市幹部職員と市議会議員合わせて32人が街頭募金活動をしました。駅や大型商業施設など市内5カ所で、市民へ協力を募りました。寄せられた募金は、日本赤十字社を通じて被災地に送られます。市では引き続き熊本地震被災地への災害派遣を行うとともに、防災体制のチェックを行っていきます。



皆さんの協力、ありがとうございました

9/18

## 子どもたちが安心して学び、過ごせるまちへ

## 市内5中学校PTAさくらの会とまちづくり座談会を開催

青少年の育成をテーマに、市内5中学校PTAさくらの会のみなさんとまちづくり座談会を開催しました。部活動の地域移行や教育環境の整備、防災、子どもの居場所づくり、不登校生徒への支援など、子どもたちを取り巻くさまざまな課題について意見が出されました。それぞれの立場から子どもたちのより良い学びや生活環境について意見を交わしました。



平井市長と市内5中学校PTAさくらの会の皆さん



まちづくり  
座談会を  
開催しました



▶まちづくり座談会の内容は、市ホームページでも紹介しています。

9/15

## 100歳超えてもお元気で



## 市長、百歳のお祝い訪問

9月15日は敬老の日です。市内各地で敬老会が行われました。今年度は39人が100歳を迎え、100歳以上の人は105人となります(7月末日時点)。また、市内の最高齢は107歳となりました。

平井市長は100歳を迎えた吉野 榮さんと鶴崎 ヨシエさんのご長寿をお祝いするとともに、これまで多年にわたり社会の発展に貢献してこられたことへの感謝を伝え、お祝い状や記念品を贈呈しました。鶴崎さんは元気の秘けつを「食べることと人との交流を楽しむことです」と笑顔で語り、吉野さんは平井市長と、日々の楽しみなどについて話しました。



吉野さんと平井市長



平井市長と談笑する鶴崎さん

9/30

## 練習の成果を 発揮して全国優勝



### 硬式野球の全国大会で優勝

吉原 あいら選手(二日市中学校2年)が、「フクダ電子カップ第26回ボーイズリーグ鶴岡一人記念大会(中学生女子の部)」に九州代表として選抜出場し、優勝の栄冠に輝いたことを平井市長に報告しました。バットの振り方や投げ方の細かな動作に気を付けて練習をしているという吉原選手は、「練習の成果が試合で発揮できて活躍できると、成長を感じられてうれしいです」と教えてくれました。



「高校女子野球での活躍をめざし、今後も練習に励みます」

9/26

## 手話で生きる世界



### 手話の日講演会

9月23日の手話の日を記念して、二日市東コミュニティセンターで講演会を開催しました。東京2025デフリンピックバドミントン競技の金メダリストである矢ヶ部 真衣さんが、日常生活やデフリンピックでの体験を通して感じたことや、聞こえないという障壁を乗り越えるために重ねた努力について話しました。参加者は、話を通して、聴覚障がい者の権利や手話の必要性について理解を深めていました。



「さまざまな人との関りを通して改めて手話の必要性を感じました」

10/4

## 楽しく学ぶ 健康と福祉の祭典



### カミーリヤフェスティバル

健康と福祉をテーマにカミーリヤフェスティバルを開催しました。ステージではリズム体操や演奏などが行われ、子どもから大人まで多くの来場者は、体成分測定やアイマスク体験、ミニ手話教室など、さまざまな展示と体験ブースで健康と福祉の大切さを体験しました。また、屋外では飲食物などの販売やラダーゲッター、モルックなどのレクリエーションを楽しむ人たちの笑顔があふれていました。



福祉ボランティアの活動に触れることができました

9/27

## からだ喜ぶ、 スポーツと健康



### スポレクフェスタ2026

「来て！見て！やって！いい汗流そう！」のテーマで、農業者トレーニングセンターを中心に、スポーツ体験、健康コーナー、飲食バザーが行われました。スポーツ体験では、日本経済大学の学生およそ20人がスポーツチャンバラや体力測定などを指導しました。雨天のため予定していた内容の変更があったものの、世代を超えて多くの人がスポーツを楽しみました。



初めて取り組む運動に、夢中の子どもたち